

紹 介

「犬と猫の健康」

メルク・メリアル マニュアル 家庭版

中山正成 (奈良県・中山獣医科病院院長)

1955年に最初に刊行された「メルク／メリアル 獣医マニュアル」は、獣医師が動物の健康管理に関して最も包括的で信頼できる本として使用されてきた。その後、世界中の著名な獣医学専門家により、丁寧に見直され、新しい情報を加え、改訂を繰り返され、最新版を元に、アメリカで2007年に「メルク／メリアル：ペットの健康マニュアル—家庭版」が刊行された。半世紀以上もの間獣医師に提供されてきた情報と同じく、飼い主にわかりやすい言葉で、ペットの一般的な全ての疾患を包括的かつ最新で、さらに信頼できる情報を提供している。この世界的な名著の中から犬・猫の部分を取り上げて翻訳されたのがこの本である。

本書の構成は、5部、48章から成り、第1部および第2部では犬の基本情報、疾患を扱い、第3部および第4部では猫を扱っている。最終の第5部ではペットとの旅行の仕方、救急医療、薬やワクチン、中毒、人間と動物の絆などさまざまな特別な問題を扱っている。さらに犬猫の正常な解剖、生理を記し犬猫の個々の器官に起こる疾患、疾患の定義、原因、

治療法、予防法そして必ず行うべき家庭でのケアについても記されている。内容は非常に詳しく、信頼でき、正確であり、現役の臨床獣医師にとっても良い参考書となる。もちろん獣医学生、ペットの飼い主、動物に関わる様々な人々にとって有用である。序文には、「この本は飼い主がペットの診断・治療を行えるように編集されているわけではなく、むしろ知識や飼い主としての責任感を増強するための道具として使用して欲しい」とある。

人間の保護のもと飼育されている犬・猫にとって必要とされるものとして、個々の習性などの正しい理解、病気の予防、適切な環境や生活の質がある。本書は、犬・猫を愛してやまない人々が必要としている情報を提供してくれる良書である。

編集者：Cynthia M. Kohn

原 題：The Merck/Merial

Manual for Pet Health
Home Edition

総監訳：中間實徳 (山口大学名誉教授)

定 価：5,230円 (税込)

判 型：AB判 732頁

発 刊：2010年5月

発行所：譚インターズー

E-mail : toiawase@interzoo.co.jp

紹介

「小動物の口腔内疾患」
—その診断と治療—

中間實徳 (山口大学名誉教授)

著者は山口県宇部市で小動物病院を開業している元日本小動物歯科研究会長の網本昭輝博士である。本書は著者が臨床の現場を通じて経験したことを元に体系づけて書かれており、多くのカラー写真や図表を入れてあるので理解しやすい。本書の内容は、1章・歯周病の診断と治療、2章・犬の外歯癭—眼窩下膿瘍・眼窩下癭、3章・犬と猫の歯科におけるX線検査法、4章・抜歯、5章・埋伏歯の診断と治療、6章・犬の犬歯の不正咬合の治療、7章・猫の歯周病、8章・猫の歯肉口内炎の治療、9章・猫破歯細胞性吸収病巣の診断と治療、10章・歯の保存修復、11章・歯内治療、12章・ウサギの歯のX線検査法、13章・ウサギの歯の不正咬合の診断と治

療、から成り、各項目毎に図や写真を入れて詳しく解説されているので、小動物臨床関係の読者には極めて判り易いと思われる。特に本書の特徴と言えることは症例での記載であるため、直ぐに応用できるようになっている。

最近、室内飼育の小型犬が多くなってきており、犬・猫の寿命も長くなり、また、飼い主の衛生観念も向上していることと相まって、今後さらに歯科領域の診療は重要性を増してくるものと思われる。本書が小動物臨床に関係する読者に大いに役立つことを期待する。

著者：網本昭輝 (アミカペットクリニック院長)

定価：13,000円(税込・送料共)

判型：A4判 183頁

発行日：平成22年4月22日(第1版)

発行所・問合せ：譚山水書房

E-mail : sansui@ss.ij4u.or.jp

募 集

すばらしい環境の動物公園で働きませんか！

財団法人高知県のいち動物公園協会職員採用試験の案内

主な業務：高知県立のいち動物公園における動物診療と飼育

募集内容：獣医師 1名

受験資格：昭和50年4月2日～昭和62年4月1日
生まれの方

受験申込期間：平成22年6月15日～6月30日

試験の日時・会場：平成22年7月10日(土)
高知県立のいち動物公園

採用試験に関する詳細な情報は、高知県立のいち動物公園ホームページ「職員採用」をご確認下さい。

(<http://www.noichizoo.or.jp/>)

問合せ先：譚高知県のいち動物公園協会
☎088-756-3509

行事等案内

第9回 国際獣医免疫シンポジウム関連プログラム

国際組織である国際免疫学会連合 (IUIS), 獣医免疫学委員会 (VIC) では, 世界中の獣医免疫研究者をはじめ, 獣医師や製薬・診断薬メーカー関係者, 行政担当者が参画する, 国際獣医免疫シンポジウムを3年おきに開催してきたが, 第9回のシンポジウムは日本で開催 (2010年8月16日(月)~20日(金)の4日間, タワーホール船堀(東京都江戸川区)) することとし, 併せて各国の専門家を講師等に迎えた関連シンポジウム等を次の通り開催する.

I OECDシンポジウム

「農場から食卓へ」

日時: 2010年8月16日(月) 10:00~18:00

場所: タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

内容: ①オープニングセッション

(次世代生物学的製剤の紹介)

②講演

牛ヨーネ病の免疫学(5名/同時通訳予定), 抗病性(2名), 適応免疫とMHC(2名), 自然免疫(3名)

③まとめと総合討論

その他: 参加無料

問合せ: 関崎 勉 (東京大学大学院農学生命科学研究科
附属食の安全研究センター教授)

〒03h584 1h3084 FAX 03h584 1h5389

E-mail: asekizak@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

II 第9回国際獣医免疫学シンポジウム

プレコングレス企画

小動物臨床 卒後教育シンポジウム

「コンパニオン動物の免疫病の治療最前線」

日時: 2010年8月16日(月) 15:30~17:30

場所: 同上

内容: 講演 (同時通訳予定)

①血液疾患における治療

②消化器系における治療

③皮膚における治療

④神経系疾患における治療

⑤眼における治療

その他: 参加無料

問合せ: 同上

III 第9回国際獣医免疫学シンポジウム

ワークショップ

「東アジアにおける動物感染症と食の安全」

日時: 2010年8月19日(木) 11:00~17:30

場所: 同上

内容: ①新しい豚ウイルス感染症

②中国における鳥インフルエンザ

③BSEの最新情報及び最近のプリオン検査法

④シカ慢性消耗性疾患 (CWD) と食の安全

⑤レンサ球菌感染症

⑥牛乳房炎とMHCの関係

⑦牛型結核菌

⑧自然免疫とカンピロバクター感染

⑨総合討論

問合せ: 甲斐知恵子 (東大医科研実験動物施設長)

E-mail: ckai@ims.u-tokyo.ac.jp

HP: <http://9th-ivis.jtbcom.co.jp/>

行事等案内

ソウル・九州・北海道・北京・上海

小動物獣医療国際ジョイントシンポジウム 2010

～ソウル・北京・上海・九州・北海道から小動物臨床の飛躍・発展を～

日 時：2010年7月11日(日) 7:30～19:00

場 所：ソウル大学(大韓民国ソウル市)

主 催：ソウル大学・九州地区獣医師・
北海道地区獣医師

後 援：北海道獣医師会・九州地区連合獣医師会・
さっぽろ獣医師会

趣 旨：日本の中央からの情報伝達が遅れがちな日本の両端(北海道、九州地区)の獣医師達が結束して最高の小動物獣医療をそれぞれの地域に提供するため、共に切磋琢磨して飛躍しようとの趣旨のもと、これまで両地域でそれぞれ1回開催したシンポジウムを、今回は両地域・日本という枠を超え、隣国の先生方を交え、“獣医臨床という”共通言語を用いて、韓国ソウル市の郊外にあるソウル大学にて開催する。

内 容：

1 特別講演

①「小動物腫瘍治療の最新情報」

細谷謙次(北海道大学)

②「Exotic Animals in Beijing」

施 振声(中国農業大学動物医学院)

③「小動物の骨折治療」

樋口雅仁(動物整形外科病院・大分県)

④「Small Animal Clinics in Shanghai」(未定)

2 Poster presentation

3 症例討論(15題)

参加申込：各地区の事務局にメール、ファックスなどで連絡(参加費50,000 Won 予定)

問合せ先：

開催地事務局：

権 五鏡(ソウル大学学長)

권 오 경 E-mail: ohkweon@snu.ac.kr

北海道側窓口：

奥村正裕(北海道大学獣医外科学教室)

☎011-706-5228

E-mail: okumuram@vetmed.hokudai.ac.jp

九州側窓口：

萩尾光美(宮崎大学農学部獣医外科学研究室)

☎0985-58-7279

E-mail: mhagio@cc.miyazaki-u.ac.jp

募 集

獣 医 師 募 集 (函 館 市)

勤 務 先：市立函館保健所 食肉検査所ほか

募集人員：1名

採用年月：平成23年4月

詳細は、市立函館保健所ホームページ

(<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/hokensyo/>) をご覧ください。

○問合せ先：☎041-0824 北海道函館市西桔梗町555-5

市立函館保健所 食肉検査所 担当：藤谷・泉田

☎・FAX 0138-49-0203 E-mail: hc-shokuniku@city.hakodate.hokkaido.jp

行事等

- 5月7日：鳥取大学農学部附属動物病院竣工式記念式典に山根会長出席
- 5月8日：一般社団法人日本動物看護職協会第2回定時総会に山根会長，大森専務理事出席
- 5月10日：獣医学教育の改善に関する関係者懇談会
- 5月11日：獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議（第9回）に山根会長出席
- 5月13日：第6回日本獣医師会雑誌編集委員会
- 5月14日：日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岐阜）企画検討会議
- 5月15日：三役会議
- 5月18日：中央畜産会第1回常務理事会に山根会長出席
- 5月19日：公益社団法人新潟県獣医師会通常総会での講演会に山根会長出席
- 5月23日：獣医学術学会年次大会企画運営委員会：第58回鳥取県獣医師会通常総会に山根会長出席
- 5月25日：第1回獣医師高度技術研修検討委員会
- 5月26日：長野県獣医師会第62回通常総会に山根会長出席
- 5月27日：獣医師賠償責任保険中央審議会
- 5月27日～28日：平成22年度決算監査会
- 5月28日：第1会理事會
- 5月31日：第1回獣医師確保対等対策合同評価委員会

お知らせ

家畜共済事業に係る獣医師職員採用説明会のお知らせ

全国の農業共済団体の獣医師職員採用説明会を次のとおり開催します。
獣医学部（獣医学科）在學生，卒業生の方はふるってご参加ください。

1 開催日時及び開催場所

- (1) 平成22年7月2日(金) 13:00～16:00
麻布大学 8号館7階 「百周年記念ホール」
- (2) 平成22年7月3日(土) 13:00～17:00
日本獣医生命科学大学 「アリーナ」

2 内 容

- 第一部 13:00～14:00
全体説明（農林水産省及びNOSAI全国による家畜共済，産業動物診療を巡る状況等の説明，現場獣医師の体験談など）
- 第二部 14:00～
個別ブース説明（各農業共済組合連合会等の担当者，獣医師職員による各県個別の説明）

3 参加申込等

他大学の学生，既卒の方も参加歓迎いたします。
事前の参加申込は不要ですが，会場等の都合もありますので，氏名，大学名，学年，参加希望会場を下記連絡先までお知らせください。

〈連絡先〉

☎03-3263-6416 FAX 03-3221-7795
E-mail : juuishi@nosai.or.jp
担当：全国農業共済協会 企画研修部
横尾・大崎

募 集

第7期 アグリネイチャースチュワード(農業自然の番人) 養成ビジネススクール

目 的：本来の農業が持つ「自然環境を保全し生物多様性を維持していく機能」を重視し、安全な食料を持続的に生産できる自然共生農業の実践者である、アグリネイチャースチュワード(農業自然の番人)の基礎講座として、生き物と共生する農業経営の体系的な知識の習得を目的とする。

期 間：2010年7月9日(金)夜～7月11日(日)夕方

場 所：学校法人自由学園・那須農場及び那須エコ
ファーマーの郷(栃木県那須塩原市)

内 容：定 員 30名

受講料：一 般 50,000円

会員・学生 35,000円

(教材含み、交通費、宿泊費、食費は含まない)

問合せ：アグリネイチャースチュワード協会

〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-18-22

ハットミリュウ301

FAX 03-3321-6368

E-mail : steward@agrinsure.jp

お知らせ

第4回日本家畜臨床感染症研究会シンポジウム開催延期のお知らせ

本誌第63巻第5号(340頁)で、お知らせした標記シンポジウムについては、宮崎県での口蹄疫の発生に伴う全国的な警戒態勢下における開催を見直し、次の日時、場所で開催することとなりましたのでお知らせします(事態の終息がみられない場合は中止も考慮)。

本件については、逐次研究会HP (<http://www.rinkanken.org/>)でご確認ください。

日 時：8月6日(金) 10:30～16:00

場 所：日本獣医生命科学大学

問合せ：日本家畜臨床感染症研究会事務局代表
大塚浩通

〒034-8628 青森県十和田市東23番町35-1

北里大学獣医学部獣医学科大動物内科学研究室

☎0176-23-4371(内線439)